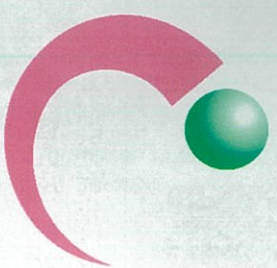


総合生活支援センターえと



コスモス

地域福祉活動センターえと通信

発行

社会福祉法人コスモス
コスモス地域福祉活動センターえと
堺市東区野尻町8-4
TEL:288-1050 FAX:288-1717
メール elto@sakaicosmos.net
発行責任者 川本 真由美

2025 年度 えととの活動案内

この春は、25 度をこえたり、真冬並みの寒さになったりと、気温が乱高下。体調など崩されてはいませんか？
地域福祉活動センターえとでは、2025 年度もいろいろな地域活動を行っています。
今年度もどうぞよろしく願いいたします。



親子ひろば

新年度の親子ひろばが始まりまっています！

日時：毎週木曜日 10:00～12:00
場所：えと 1 階 プレイルーム

未就園児対象です
おかあさん おとうさん
おじいちゃん おばあちゃんと一緒に大歓迎

保育士の先生と
いっしょにたのしく 遊んじやおう！
子育てのこまりごと
みんなで話して ほっとしましょう



親子であそぼう！「あそぼう会」

5月から 新年度の「あそぼう会」が始まります！

日時：第 1・第 3 水曜日 10:00～12:00
場所：えと 1 階 プレイルーム

子どもの発達が心配とひとりで悩んでいませんか？
親子で気軽にあそびにきませんか？

楽しいあそびを通じて子どもの育ちを
一緒に見守っていきましょう！



コスモスコーラス

次回の練習日は5/19(月)です。

日時：第 3 月曜日 13:00～15:00
場所：えと 3 階 地域交流ホール



手話講座

新年度の手話講座が始まります！

日時：第 2・第 4 木曜日 13:00～
場所：えと 3 階 地域交流ホール



手話は言語です。
みなさん一緒に学びませんか？(広報さかい 9 月号参照)
えとでは、月 2 回手話教室が開かれています。

しりとりやカルタなどゲームを楽しみながら、
簡単な手話をいつからでも始められる講座です。
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは

各活動に関するお問い合わせは、
電話：072-288-1050
FAX: 072-288-1717
メール: elto@sakaicosmos.net
までどうぞ。



コスモスのウェブサイトでも、いろいろな
情報を発信中です！
<https://www.sakaicosmos.net/>



手話カフェ「まごころ家」のご紹介

『一年中コミュニケーション満開！！』



昼ランチ
11時半～14時迄

どんな人でも、気楽に利用していただけるカフェを目指して2002年にスタートしたのが、「手話カフェまごころ家」です。手作りクッキー、アイスクリーム、夏季限定のかき氷は子供たちに人気です



数量限定！栄養バランスのある
日替わり定食600円

手話カフェ「まごころ家」

営業：月曜～金曜・第1、第3土曜9時半から16時
休業日：第4月曜・第2、4土曜・日曜・祝日
第2、第4火曜・水曜の12時～12時半
「手作りパン」も販売もありますよ

*手話が難しい方でもご利用いただけますので、
ぜひ皆さまの来店をお待ちしております。



堺市 HP には日常生活で簡単に使
える手話動画の紹介があります

まごころ家「ミニ手話教室」

第1、第2、第3月曜
時間
フンドリソク 500 円
だれでも、手話を気軽に学べます



Facebook にメ
ニュー掲載中！



LINE でご注文お
受けします！

住み慣れたこのまちで暮らし続けたい ブルー・アホーム建設基金へ ご協力をお願いします

堺の福祉をすすめるコスモス後援会は、1997年から地域の皆様のご協力により、社会福祉法人コスモスの各施設に通う地域の障害者・家族、子どもたち、高齢者の願いを事業化すること一緒に取り組んできました。これまでも多くの皆様から「なかまのえがお基金」にご協力いただき、送迎車の購入や障害者の働く場である森のカフェ、アクテイクスペースなどの開所を実現することができました。



障害のある人の暮らしの場が
まだまだ足りません。障害者・家
族の高齢化も進んでおり、障害
の重度化への対応として、バリ
アフリー化や消防設備の設置な
ど、安心して住み続けられる対
策も必要です。一刻の猶予もあ
りません。皆様のご協力をよろ
しくお願いします。
ご寄付をいただいた方には「税
控除」「返礼品」のご用意もあ
ります。

ご連絡先：288-1050
(コスモス後援会担当：奥田、三
村、岩槻)

障害のある人が「他の者との平等」な暮らしを実現する制度を！

世界共通の貧困を示す指標である
「相対的貧困」状態(日本は年収127
万円以下)の障害のある人が、78.6 %
もいることが明らかになりました。

きょうされん 2023 障害のある人の 地域生活実態調査	障害のある人		一般 (2021年)※2
	2023年	2016年	
相対的貧困以下 (年収127万円)	78.6%	81.6%※1	15.4%

※1 2016年当時の相対的貧困率は年収122万円
※2 2022(令和4)年国民生活基礎調査(厚生労働省)

また、40代前半の障害のある人の
50%以上が親と一緒に住んでいます。障
害のない人と同じように生活するためには、
まず所得を増やす必要があります。家族の
支援が前提となっている生活から、社会が
支える仕組みに変えていくことを求めています。

